

科目名称：	保育内容総論	
担当者名：	山田 紀子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>保育は、子どもを理解するところから始まる。子ども理解は、子どもの成長、発達に望ましいかかわりができるようになる 第一歩である。そして一人ひとりの内面にある可能性を見出し、適切な働きかけをしていくことが大切である。「保育内容総論」では、年齢の発達過程を理解した上で、幼稚園や保育所、こども園での生活や遊びを具体的な活動を通して伝える機会を持ち、現場での感覚をつかむことで一人ひとりの育ちを把握し、柔軟な対応ができる力を養う。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>幼稚園、保育所、認定こども園の役割を理解し、各年齢の発達過程を学び、保育内容とその展開方法を理解する。また、子どもの行動や言葉に理解を深めどのようにかかわったらいいのかを、自分で考えて実際に保育ができるような指導案の作成などを行うことを目的とする。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)	60		20	20	100
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 保育士	《経験年数1》 12年4か月
	《内容2》 幼稚園教諭	《経験年数2》 19年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
乳幼児期の発達理解	乳幼児期の概ねの発達をきちんと理解し、実習に活かすことができる。	乳幼児期の概ねの発達を理解し、実習に活かそうとしている。	乳幼児期の概ねの発達を大体理解している。	乳幼児期の概ねの発達を理解しようとする努力が見られない。
年齢に応じた遊び理解	年齢に応じた子どもの様子をしっかりと把握し、遊びの指導等を考えることができる。	年齢に応じた子どもの様子を把握し、遊びを考えることができる。	年齢に応じた子どもの様子を大体理解し、遊びを考えようとしている。	年齢に応じた子どもの様子を理解し、遊びを考えようとする努力が見られない。
乳幼児の総合的な遊びの理解	総合的な遊びを理解し、遊びから学んでいるということ十分に把握して、指導等を考えることができる。	総合的な遊びを理解し、遊びから学んでいるということ把握し、指導等を考えようとしている。	子どもの遊びは総合的なものであり、遊びから学ぶということを理解している。	総合的な遊びを理解し、子どもは遊びから学ぶということを理解しようとする姿が見られない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 子どもを取り巻く社会環境の変化と保育内容を理解する	シラバスを精読し、子どもを取り巻く環境とはどのようなことかを、まとめる。	30分
第2回 保育所・幼稚園・認定こども園の役割を知る	教科書P20～37を読み、それぞれの役割について、自分の考えをまとめておく。	20分
第3回 保育所・幼稚園・認定こども園の保育内容を理解する	教科書P38～46までを読み、それぞれの保育内容について考えをまとめておく。	30分
第4回 保育内容を展開するプロセスを理解し、それぞれの考えをディスカッションする(グループワーク)	保育所・幼稚園・認定こども園がどのように展開されているかをまとめておく。	30分
第5回 乳児(1歳未満)の保育内容を理解する	教科書P63～70までを読み、1歳未満児の保育の大切を自分なりにまとめておく。	30分
第6回 1・2歳児の保育内容を理解する	教科書P71～84までを読み、1・2歳児の姿について調べておく。	30分
第7回 3・4・5歳児の保育内容を理解する	教科書P85～96までを読み、3・4・5歳児の姿について調べておく。	30分
第8回 異年齢児の保育内容を理解する	教科書P113～124まで読み、異年齢児保育とは何かを予習しまとめておく。	30分
第9回 子育て支援を創造する保育内容を理解する	教科書P125～140まで読み、子育て支援とは何かを予習しまとめておく。	30分
第10回 実習に向けてのDVD視聴しグループワークをする(ICT活用、グループワーク)	自分が指導してみたいことを考え、実習で大切なことをまとめる。	20分
第11回 実習に向けての指導案作成し、具体化できるようグループでディスカッションする	これまでのそれぞれの発達を考え、うえて指導案を書いてくる。	40分
第12回 実習の振り返りフィールドワークする	実習を振り返り、自分の課題や反省をまとめておく。	30分
第13回 就学前教育と初等教育を接続を接続する保育内容/地域における開かれた保育所・幼稚園を創造する保育内容	幼児期から小学校への滑らかな接続と地域とのかかわりを自分なりにまとめておく。	30分
第14回 我が国における保育内容の変遷/諸外国の保育所・幼稚園の保育内容を理解する	日本の保育の変遷と外国の保育内容について予習しまとめておく。	30分
第15回 これからの保育内容の変遷を知り学びの振り返りをプレゼンテーションする	これからの保育内容について今までの学びを振り返り考えてくる。	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
レポート提出内容20% 授業への積極的関与20%

課題に対するフィードバック

課題レポートを提出後、評価、確認し返却する。

教科書・参考書

教科書：『保育内容総論』 豊田和子編 みらい
配布プリント